

様式第6号(第18条関係)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和5年5月26日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市橘通西3丁目10番32号  
名 称 中央東まちづくり推進委員会  
代表者の氏名 委員長 太田 修子  
電 話 番 号 0985-27-6240

令和5年2月22日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告書
- (ロ) 収支決算書
- (ハ) 事業別収支計算書
- (ニ) その他

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

## 1 総括

中央東まちづくり推進委員会が令和4年度に取り組んだ事業の中には、コロナ禍の影響を強く受けた事業もあったが、過去2年の経験を踏まえ事業内容を工夫しながら進めることができた。5つの部会はそれぞれ、中央東の3つの基本目標である「いつまでも元気で安心して暮らせるまちづくり」「世代間交流で絆を深めるまちづくり」「地域の宝・地域の力で活力あるまちづくり」に寄与する事業を検討・実施した。

## 2 収支決算

## (1) 収入の部

(単位:円)

項目	予算	決算	差	備考
基礎交付金	5,292,000	5,292,000	0	
繰越金	2,068,463	2,068,463	0	
負担金	40,000	39,400	600	ｺﾝﾎﾞｽﾄ 39,400
その他	77,050	91,040	13,990	預金利息 40 広告 91,000
合計	7,477,513	7,490,903	13,390	

## (2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	地域の子ども見守り事業	11年目	118,000	62,920	55,080	
防	防災訓練事業	13年目	316,000	168,433	147,567	
防	防災学習事業	10年目	150,000	37,352	112,648	
防	備蓄品購入事業	4年目	50,000	49,890	110	
福	げんきづくりふれあい事業	14年目	290,000	49,681	240,319	
福	認知症サポーター養成事業	2年目	50,000	24,844	25,156	
福	地域とお年寄りの交流事業	1年目	10,000	9,744	256	
環	生ごみ減量ダンボールコンポスト普及事業	15年目	236,000	223,633	11,767	負担金収入の決算による
環	動物愛護環境活動事業	10年目	700,000	637,715	62,285	
再	大淀河畔たまゆらまつり事業	13年目	950,000	944,962	5,038	
再	栄町児童公園ふれあいまつり事業	13年目	450,000	202,889	247,111	
再	江平地域のまつり事業	4年目	290,000	60,751	229,249	
再	朝活プラス事業	2年目	240,000	114,096	125,904	
再	地域の魅力発信事業	2年目	170,000	12,534	157,466	
再	地域空撮事業	1年目	420,000	198,550	221,450	
伝	文化伝承事業	10年目	120,000	13,496	106,504	
教	地域交流「結び・笑(え)」事業	14年目	370,000	53,116	316,884	
教	ITちびっこづくりモデル事業	1年目	231,000	64,217	166,783	
教	正しいかけっこ・歩き方事業	1年目	162,000	104,254	57,746	
他	事務局管理運営事業	11年目	2,154,513	2,168,503	13,990	その他収入の決算による
繰越金			0	2,289,323	2,289,323	
合計			7,477,513	7,490,903	13,390	

### 3 実施報告

#### [ 1 ] 防犯・防災に係る事業

事業名	地域の子ども見守り事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：	年度												
地域魅力発信プランとの関連	声かけ運動や見守り活動を実践しましょう。 防災・防犯への意識向上を図りましょう。														
目的 (期待される効果)	中央東地域に住む児童が安心して通学できるように、地域と学校、PTAが連携して見守り活動を行い、安心な地域づくりを推進する。 また、声掛け事案、不審者情報などにも配慮し子ども達の安全を見守る。														
事業内容・手段	自治会、民生児童委員・福祉協力員・自治会会員が宮崎小学校、江平小学校、各PTAと連携し、児童の下校時の見守り活動をその他の小学校児童も含め実施した。学校行事や新型コロナ対策による下校時間の変更等についても、学校と情報を共有して連携を図り、見守り活動を行った。 <実績> 新1年生の安全確保のため、4月は入学式翌日から1週間見守り活動を実施した。 宮崎小学校校区 原則、第一水曜日(下校時)に見守り活動を実施。 江平小学校校区 原則、第一水曜日(下校時)に見守り活動を実施。 江平小学校については、意見交換会を3年ぶりに開催。学校教職員をはじめ、江平小区見守り隊、中央東まちづくり推進委員会から23名が参加した。対面式・感謝集会については、両校とも昨年度に引き続き実施できていない。														
事業費	62,920円														
対象者	中央東地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮崎小学校校区見守り隊</td> <td>42名</td> <td>47名</td> </tr> <tr> <td>江平小学校校区見守り隊</td> <td>75名</td> <td>84名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>117名</td> <td>131名</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和4年度	令和3年度	宮崎小学校校区見守り隊	42名	47名	江平小学校校区見守り隊	75名	84名	合計	117名	131名
年度	令和4年度	令和3年度													
宮崎小学校校区見守り隊	42名	47名													
江平小学校校区見守り隊	75名	84名													
合計	117名	131名													
住民の声(アンケートの結果等)	アンケート実施無 新1年生が学校生活に不慣れな時期に交通事故の危険性が高い場所や昼間でも人通りの少ない道を中心に下校時の見守り活動をしてもらえるので安心できる。 また、不審者情報にも対応していただいているので、子どもの安全に下校できる安全な生活環境を確保していただきありがたい。														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A		広報	事業の周知	A	A	
	住民の参加	A	A			事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A	3年ぶりの意見交換会開催で、登下校時の子どもたちの様子や危険箇所の情報共有化が図られた。	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;                      不審者情報等の見守り隊への伝達については、令和5年3月7日開催の江平小学校と見守り隊との意見交換会で、学校側から見守り隊長へメールで速報されることが決定した。不審者情報が出された際、見守り活動の迅速な対応等が期待される。</p>							
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見(令和 年 月・ )&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	
	<p>&lt;地域協議会からの意見(令和 年 月・ )&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 1 ] 防犯・防災に係る事業

事業名	防災訓練事業	実施年数	13年目
事業期間	開始：22年度(2010年)	終了：無し	年度
地域魅力発信プランとの関連	声かけ運動や見守り活動を実践しましょう。 防災・防犯への意識向上を図りましょう。		
目的 (期待される効果)	地域住民の防災意識の高揚を図り、住民の絆づくりを推進する。実践的な防災訓練を繰り返し実施することにより、災害時の適応力を育む。又高層マンション等の防災危機感を学ぶ。		
事業内容・手段	<p>宮田区自治会防災訓練</p> <p>日時：令和5年1月27日(土)10時～11時30分</p> <p>場所：栄町児童館及び栄町街区公園</p> <p>講師：中央東まちづくり推進委員会事務局</p> <p>内容： 栄町児童館：地震についての防災 ×式クイズ(45分間) クイズ10問の解説(津波ハザードマップ及び防災ハンドブック使用) 在宅避難時の保存食活用及び作り方の解説 栄町街区公園：保存食の試食体験(30分間) (保存食の五目ごはん、豚汁、保存水、カセットコンロ・鍋等)</p>		
事業費	168,433円		
対象者	中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	<p>令和4年度 防災訓練(宮田区自治会) 参加者数：50人(スタッフ含む)</p> <p>令和3年度 マンション防災セミナー(宮崎駅前自治会<sup>ホ</sup>・<sup>レ</sup>スタ-宮崎<sup>サ</sup>・<sup>プ</sup>レミアム) 参加者数：21人(スタッフ含む)</p>		
住民の声(アンケートの結果等)	<p>アンケートの実施無</p> <p>×式のクイズが楽しかった。</p> <p>クイズ問題の解説があり、地震についての知識や身を守るための必要な行動がわかりやすく、理解できた。また、次回も参加したい。以前参加したときよりアルファ米(五目ごはん)が美味しくなっている。豚汁も美味しかった。</p>		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A		広報	事業の周知	A	A	
	住民の参加	A	A			事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;                      楽しく学べ・体験できる防災訓練をめざし、地震版の防災クイズを ×式で楽しめる手法を導入した。クイズ内容は、地震の総論（基本）と各論（宮崎市バージョン）に分けた。参加者の反応は良かった。体験学習についても、今後、保存食試食体験以外の内容も検討していきたい。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	
	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 1 ] 防犯・防災に係る事業

事業名	防災学習事業	実施年数	10年目
事業期間	開始：25年度(2013年)	終了： 年度	
地域魅力発信プランとの関連	防災・防犯への意識向上を図りましょう。		
目的 (期待される効果)	児童や地域住民を対象にした防災学習・勉強会を開催し、防災に対する知識を楽しく学び、家庭や地域の防災へ関心を高めることを目指す。		
事業内容・手段	<p>江平小学校4年生「DIG訓練」(地震を想定した安全マップづくり)</p> <p>第1回：R4.10.28(金) DIG訓練(体育館)/参加児童数122人(計21班)</p> <p>第2回：R4.11.10(金) 地域探検(通学ルート)/児童・保護者・教員等162人</p> <p>第3回：R4.11.25(金) 地図の最終書き込み(体育館)/児童122人(計21班)</p> <p>内容：「地震・津波の基礎知識」及び「DIG訓練の基礎知識と事前準備」</p> <p>講師：市地域安全課 地域防災コーディネーターほか</p> <p>宮崎小学校4年生「体験型防災学習」</p> <p>令和4年11月18日(火)地震・津波の基礎知識(体育館)</p> <p>起震車体験搭乗・公衆電話模擬体験(屋外で2班に分け実施)</p> <p>参加児童数52人/教員及びPTA役員等10人</p> <p>講師：宮崎市消防局防災センター(2人)ほか</p> <p>部会員の防災学習会(リモート研修)</p> <p>日 時：令和5年2月21日(火)</p> <p>：防災基礎知識、宮崎市の災害アーカイブ、防災まちづくりほか</p> <p>参加者数：10人</p> <p>講 師：市地域安全課 地域防災コーディネーター</p>		
事業費	37,352円		
対象者	宮崎小・江平小児童 中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	<p>江平小：児童、教員、PTA役員、保護者、まちづくり推進委員会 延べ406人</p> <p>宮崎小：児童、教員、PTA役員、まちづくり推進委員会 延べ64人</p> <p>生活安全部会員：10人</p>		
住民の声(アンケートの結果等)	<p>アンケート未実施</p> <p>起震車を体験した子どもたちからは、「思ったより揺れて怖かった」との声が多くあがっていた。また、「今日の2つの体験がいつか役に立つと思う」との声も聞かれた。</p>		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A		広報	事業の周知	A	A	
	住民の参加	A	A			事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 宮崎小学校での体験型防災学習として、起震車搭乗に加えて災害時優先電話の一つである公衆電話の模擬体験を学校と企画し、実施できた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見(令和 年 月・ )>  <意見への対応>						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見(令和 年 月・ )>  <意見への対応>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



[ 1 ] 防犯・防災に係る事業

事業名	備蓄品購入事業	実施年数	4年目
事業期間	開始：平成31年度(2019年)	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	防災・防犯への意識向上を図りましょう。		
目的 (期待される効果)	災害時の避難所となっている学校や交流センターが避難所として開設された時に、すぐに利用できる防災用品を揃えて置く。		
事業内容・手段	<p>避難所でのプライバシーを確保するためのパーティション3個と台風等の避難時に食べ物を切らしてしまった避難者のための保存食2種類を購入する。</p> <p>購入備蓄品</p> <p>(1) 避難所用パーティション(テント)3個 2m×2m×1.8m・重量約4kg・携帯型</p> <p>(2) 保存食2種類(5年保存)</p> <p>新・備パワーブーストようかん 1箱(120本入り)</p> <p>新・備エネバー 3本入り×28袋(84本入り)</p>		
事業費	49,890円		
対象者	中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	-		
住民の声(アンケートの結果等)	アンケート未実施		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A		広報	事業の周知	A	A	
	住民の参加	A	A			事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取り組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;                      地域住民が台風等に備えて避難する可能性の高い「宮崎東地区交流センター」に食べ物を切らした人への保存食や個人のプライバシーを守るためのテントを配備した。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和3年8月 事業計画）&gt;                      今回計画された備品は、災害時に効果が発揮されるものと考えますが、備品は年数が経過していくと陳腐化等により、その機能を十分に発揮できなくなる恐れがあります。備蓄品の整備については、災害時にライフラインが止まった場合に最も必要となる水や非常食、生活用品を含めて、引き続き、購入する優先順位を検討し、市の備蓄状況も踏まえた計画的な整備をお願いします。                      &lt;意見への対応&gt;                      生活安全部で備蓄品の計画を作成しましたので、まちづくり推進委員会として合意を得る予定にしています。</p>						対応	未・済	
	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;                      &lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 2 ] 地域福祉に係る事業

事業名	げんきづくりふれあい事業	実施年数	14年目
事業期間	開始：21年度(2009年)	終了：無し	
地域魅力発信プランとの関連	いつまでも元気で安心して暮らせるまちづくりを目指しましょう。 地域の高齢者などの見守りの継続、充実を図りましょう。 仲間づくりのできるまちにしましょう。		
目的 (期待される効果)	高齢者を中心に体力や年齢に関係なく誰でも気軽に楽しめるレクリエーション、セミナー等を通して楽しい生活を送れるようにげんきづくり、いきがいつくりにつなげる。		
事業内容・手段	<p>民生・児童委員や福祉協力員、自治会、老人会等と連携し各地域の対象者の参加を促す。また、地区社協・包括支援センターと更に連携を図って参加しやすい交流の場を紹介・案内してもらう。</p> <p>新型コロナの影響によって体力の低下、認知症の進行などが考えられるため、リスクを減らして少人数で身体的にも精神的にも負担の少ない事業を検討する。</p> <p>&lt;実施報告&gt;</p> <p>会場：吾妻町外山電器</p> <p>9月14日(水) 13:00~</p> <p>10月12日(水) 13:00~</p> <p>11月16日(水) 13:00~</p> <p>12月14日(水) 13:00~</p> <p>1月11日(水) 13:00~</p> <p>2月 8日(水) 13:00~</p> <p>3月 8日(水) 13:00~</p> <p>会場：駅前地区自治公民館2F</p> <p>10月 5日(水) 11:20~</p> <p>3月29日(水) 11:00~</p>		
事業費	49,681円		
対象者	中央東地域自治区住民		
参加者数 (内訳)	9月14日(水)・10月12日(水)・11月16日(水)・12月14日(水) 1月11日(水)・2月8日(水)・3月8日(水) 各6名 10月5日(水)・3月29日(水) 各15名		
住民の声(アンケートの結果等)	アンケートの実施無		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A		広報	事業の周知	A	A	
	住民の参加	A	A			事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;                      新型コロナの影響で大きな会場での開催が難しかった為、小規模な施設を利用することで、身体的にも精神的にも負担の少ない事業ができた。今後の改善点として、会場を広くしてより多くの近隣住民の参加を促していきたい。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	
	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 2 ] 地域福祉に係る事業

事業名	認知症サポーター養成講座事業	実施年数	2年目																				
事業期間	開始：令和3年度（2021年）	終了：	年度																				
地域魅力発信プランとの関連	声かけ運動や見守り活動を実践しましょう																						
目的 (期待される効果)	認知症発症者の基本的な知識と対応方法を周知する。																						
事業内容・手段	<p>中央東地域内の住民に対して、自治会経由で広報紙を配布し認知症サポーター養成講座の受講者を募集し、受講申込みがあった。</p> <p>新型コロナ感染症対策として人数を制限して実施。</p> <p>実施報告</p> <p>会場：宮崎駅前地区自治公民館 日時：9月26日(月)13:30~</p> <p>会場：宮崎東地区交流センター 日時：9月29日(木)13:30~</p>																						
事業費	24,844円																						
対象者	中央東地域住民																						
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 付</td> <td>9月26日</td> <td>9月29日</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>宮崎駅前地区自治公民館</td> <td>宮崎東地区交流センター</td> </tr> <tr> <td>参 加 者</td> <td>12名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8名</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>20名</td> <td>16名</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度		令和3年度	日 付	9月26日	9月29日	/	場 所	宮崎駅前地区自治公民館	宮崎東地区交流センター	参 加 者	12名	9名	スタッフ	8名	7名	合 計	20名	16名
年 度	令和4年度		令和3年度																				
日 付	9月26日	9月29日	/																				
場 所	宮崎駅前地区自治公民館	宮崎東地区交流センター																					
参 加 者	12名	9名																					
スタッフ	8名	7名																					
合 計	20名	16名																					
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の方のいろいろな行動がよく理解できた。いろいろな事件もあるし、安心して預けられる施設がたくさんあるといいです。そして、すぐに調べられる様になればいいかなと思う。</li> <li>・「認知症」という言葉はよく耳にするけど、詳しくは知らないのこのような講座があるのを知って良かったです。</li> <li>・認知症サポーターの事がわかりとても良かったです。</li> <li>・大変勉強になりました。</li> <li>・家族、自分にとって身近な大切な問題。ありがとうございました。</li> <li>・認知症の全体像を整理することができた。</li> <li>・認知症に対する認識が変わった。</li> <li>・特別ではない、行く道として寄り添いたい、とても有難いお話しでした。</li> <li>・認知症の方への対応の仕方が解った。</li> <li>・項目別になっていたの、わかりやすかった。</li> <li>・資料と共に認知症について詳しく学ぶことが出来ました。</li> <li>・直接毎日お世話されている施設の方の生の声、実話等聞けて大変な仕事ということもわかり勉強になりました。</li> </ul>																						

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A		広報	事業の周知	A	A	
	住民の参加	A	A			事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				住民の満足度	A	-
	各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;  宮崎小校区、江平小校区に分けることで、受講者を確保する事ができた。今後の改善点として、開催の時間帯（夜間や土日）場所を工夫して、若い世代の方も参加しやすいように改善する。</p>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>								対応
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>								対応
	<意見への対応>								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 2 ] 地域福祉に係る事業

事業名	地域とお年寄りの交流事業	実施年数	1年目
事業期間	開始：令和4年度（2022年）	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	声かけ運動や見守り活動を実践しましょう		
目的 (期待される効果)	孤立傾向にある高齢者に対して、小学生から長寿を祝う作品（絵・メッセージカード・色紙など）を渡すことで、高齢者の地域との接点づくりのきっかけとするとともに、地域内の交流を促進する。		
事業内容・手段	<p>令和4年度に関係各所（地区社協・自治会・小学校・子ども会等）と調整（各地域と情報、意見交換会等）を行い、令和5年度実施に向けた準備を行う。</p> <p>実施報告</p> <p>令和4年7月 各自治会長・各民生委員（中央東地区・橘地区）に対し、孤立傾向にある高齢者の人数把握するため予備調査を実施。</p> <p>令和4年9月 部会議にて対象者への配布方法等を協議</p> <p>令和4年11月21日宮崎小学校、 11月25日江平小学校に事業実施を提案</p>		
事業費	9,744円		
対象者	中央東地域自治区住民（高齢者）		
参加者数 (内訳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長 27名</li> <li>・民生委員 29名</li> </ul>		
住民の声(アンケートの結果等)	アンケート実施無		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	-		広報	事業の周知	-	-	
	住民の参加	-	-			事業の効果	課題解決への作用	-	-
効果的・効率的な取り組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	-				住民の満足度	-	-
	各種団体との連携	A	-		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;                      各自治会長や各民生委員に対し、実施した予備調査を基に部会協議で対象年齢を決定し、1人暮らしの高齢者の人数を把握することができた。宮崎小学校・江平小学校と協議を行い、対象学年・参加賞の品も決定し来年度の準備ができた。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p>&lt;地域協議会からの意見(令和 年 月・ )&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	
		<p>&lt;地域協議会からの意見(令和 年 月・ )&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



[ 3 ] 環境に係る事業

事業名	生ごみ減量ダンボールコンポスト普及事業	実施年数	15年目			
事業期間	開始：平成20年度(2008年)	終了：	年度			
地域魅力発信プランとの関連	花いっぱい運動や動物愛護運動を展開しましょう					
目的 (期待される効果)	生ごみを減量化することで、ごみ処理の削減や地球温暖化防止につなげる。生ごみを簡単に堆肥化できるダンボールコンポストの普及をさせることで、住民の意識の向上を図る。					
事業内容・手段	<p>生ごみ減量ダンボールコンポスト講習会を環境意識の高まりと新型コロナ感染症予防を考慮し、今年度よりリピーター向けと初心者向けに時期を分けて2回実施。</p> <p>&lt;リピーター向け講座&gt;</p> <p>日時：実践的講座 6月11日(土)10:00~12:00          フォアアップ及び寄せ植え講座 7月2日(土)14:00~16:00</p> <p>&lt;初心者向け講座&gt;</p> <p>日時：基礎講座 11月5日(土)14:00~16:00          フォアアップ及び寄せ植え講座 12月10日(土)14:00~16:00</p> <p>*両講習会共通</p> <p>場所：宮崎東地区交流センター「学習室」          講師：宮崎ダンボールコンポストネットワーク県央支部長          宮崎市花のまちづくり推進員(寄せ植え講座)</p> <p>ダンボールコンポスト応用編(畑づくり)</p> <p>・コンポストでできた堆肥の土を使った野菜作りを継続して実施(通年)し、収穫した野菜等は地域食堂等に食材を提供した。</p>					
事業費	223,633円					
対象者	中央東地域住民					
参加者数 (内訳)	内 訳	令和4年度			令和3年度	
	実施日	6/11、7/2	11/5、12/10	通年(畑)	11/5、12/18	通年(畑)
	参加者	16名	17名	/	18名	/
	スタッフ	6名	6名		10名	
	合計	22名	23名	延30名	28名	延60名
住民の声(アンケートの結果等)	<p>アンケート実施</p> <p>ごみの量を減らしたいと思い、参加しました。具体的なゴミの投入の仕方など良く分かりました。経験者の話を聞いたことが良かったです。</p> <p>ダンボールコンポスト講習も聞かたび勉強になります。</p> <p>ダンボールコンポストのわからない所も先生に丁寧に教えていただいて、知識が深まり勉強になりました。</p>					

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A	両講習会とも募集定員を上回る応募があり、環境問題への関心の高さが確認できた。	広報	事業の周知	A	B	全戸回覧にするには2か月前には日程や会場を抑えなくてはならないので、リピーター向け講習会はダイレクトメールで募集をかけた
	住民の参加	B	B			事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 生ごみ減量ダンボールコンポストを出来るだけ多くの方々に普及させるため、今年度より対象者と時期を分けて2回開催し、募集方法や講座内容もそれぞれに合わせ工夫して実施した。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見(令和 年 月・ )> <意見への対応>						対応	未・済
		<地域協議会からの意見(令和 年 月・ )> <意見への対応>						対応	未・済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 3 ] 環境に係る事業

事業名	動物愛護環境活動事業	実施年数	10年目						
事業期間	開始：平成25年度	終了：	年度						
地域魅力発信プランとの関連	花いっぱい運動や動物愛護運動を展開しましょう								
目的 (期待される効果)	人間の都合で捨てられた猫などが殺処分されないよう、地域猫活動を支援することで動物愛護への関心を高める。								
事業内容・手段	<p>自治会や地域の協力員等と連携しながら地域猫活動を支援する。</p> <p>また、地域に生息する猫たちのえさやり、えさの片付け、糞の始末などの管理を行う地域猫活動員・協力員の活動を支援する。</p> <p>今後、愛護センターの職員や動物愛護の活動をしている方を招いて講演会や研修会を検討していく。</p>								
事業費	637,715円								
対象者	中央東地域住民・地域猫協力員								
参加者数 (内訳)	<p>&lt; 避妊・去勢数 &gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>45匹</td> <td>42匹</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域猫活動員 環境部会員3/7人(活動員 2名・餌やり掃除のみ1人) 協力員 11人(R4.12.1現在)</p>			年度	令和4年度	令和3年度	合計	45匹	42匹
年度	令和4年度	令和3年度							
合計	45匹	42匹							
住民の声(アンケートの結果等)	*アンケートは、特になし。								

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	B	B		広報	事業の周知	B	B	
	住民の参加	A	B	協力員さんの人数が増えてきて、地域猫活動も少しずつ根付いてきた。		事業の効果	課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	協力員さんとの情報交換会を随時行い、活動の支援・推進に努めている。			住民の満足度	B	B
	各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 協力員さんが着用するベストを作成・配布し、一般の方に環境部会の活動として行っていることを周知できるようにした。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見(令和 年 月・ )> <意見への対応>					対応	未・済	
		<地域協議会からの意見(令和 年 月・ )> <意見への対応>					対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 4 ] 地域再生に係る事業

事業名	大淀河畔たまゆらまつり事業	実施年数	13年目
事業期間	開始：22年度(2010年)	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう 暮らしやすい地域づくりに取り組みましょう		
目的 (期待される効果)	ホテルや店舗、病院、事務所などと協力し、世代間交流や地域の伝統文化の伝承等を目的として「まつり」を開催することで「たまゆら温泉」「商店街」を盛り上げる。 地域の企業や個人からの協賛を募り「まつり」の内容を充実させ、まちづくりに参加する意識を醸成する		
事業内容・手段	地域の青年団や自治会などで実行委員会を立ち上げて協賛金を集め、事業資金を充実させる。抽選会などで子どもを含む地域住民に参加を促す。景品の費用は、協賛金で賄い(地域コミュニティ活動交付金とは別会計)高校生や地域の方をまつりスタッフとし、多くの地域住民が集い、交流できる場を設ける。		
事業費	944,962円		
対象者	中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	来場者：2,000人 スタッフ：60人		
住民の声(アンケートの結果等)	「ひさびさにまつりが開催され、楽しかった」との声があった。		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A			広報	事業の周知	A		)
	住民の参加	A				事業の効果	課題解決への作用	A	
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A					住民の満足度	A	
	各種団体との連携	A			事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;                      コロナ感染防止対策として検温器や手指消毒機材の配置など、会場レイアウトを見直した。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和3年4月・事業計画）&gt;                      事業の目的に世代間交流も掲げ、協賛金で自主財源を確保しながら努力されている。事業効果を上げるため、広く地域の自治会をはじめ、もっと地元のいろんな団体が参加・参画できると良い。                      &lt;意見への対応&gt;                      世代間交流を一層促進するため、周知方法の見直しを行い、各世代が参加・参画しやすい事業となるよう、実行委員会が周知した。</p>						対応	未・済	
	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）&gt;                      &lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 4 ] 地域再生に係る事業

事業名	栄町児童公園ふれあいまつり事業	実施年数	13年目
事業期間	開始：22年度(2010年)	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう		
目的 (期待される効果)	栄町街区公園は地域住民の交流拠点であることから、学校・保育園・幼稚園、子ども会と連携し、三世代交流を図り地域の活性化に努める。		
事業内容・手段	<p>地域内の各団体（自治会・民生児童委員・子ども会・PTA）が連携して実行委員会を立上げ、地域のものづくりの達人が指導する木工教室や児童館でのプラ板作りなどのイベント実施を予定。そのほか、地域交流「結び・笑（え）」事業との合同開催で、ふれあい動物園を設置し、三世代の住民が小動物の触れ方や特徴などを教えてもらいながら日頃身近に接する機会が少ない動物にエサをあげたり、ふれあう体験や壊れたおもちゃの修理を無料で行うおもちゃ病院のイベントを予定。</p> <p>令和4年度：雨天中止  （令和4年11月20日（日） 栄町街区公園）  地域交流「結び・笑（え）」事業と同時開催</p>		
事業費	202,889円		
対象者	各小学校 中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	令和4年度 : 雨天中止 令和3年度 : 来場者263名/スタッフ47名(計310名) 平成30年度 : 来場者331名/スタッフ56名(計387名)		
住民の声(アンケートの結果等)	アンケート未実施		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A		広報	事業の周知	A	A	
	住民の参加		A	雨天中止		事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				住民の満足度		A
	各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;                      イベントは中止となったが、会場の受付事務の簡略化と地元中学生ボランティア5名配置を行うことにより受付の効率化により時間短縮を図り、人の密集を避けるなどのコロナ感染防止対策を準備した。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（ 年 月・事業計画）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	
	<p>&lt;地域協議会からの意見（ 年 月・事業計画）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



[ 4 ] 地域再生に係る事業

事業名	江平地域のまつり事業	実施年数	4年目
事業期間	開始：令和元年度（2019年）	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	声かけ運動や見守り活動を実践しましょう 地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう		
目的 (期待される効果)	昔なつかしい夏まつりを実施することにより、地域住民の交流の場をつくり世代間交流やきずなづくり、自治会の活性化を図る。		
事業内容・手段	江平地区を中心に近隣自治会、子ども会・老人会・小中学校PTA等で実行委員会を立ち上げ、地域住民との交流の場であるとともに、地域に根づいて行くような町おこし事業となる江平地域の「まつり」を開催する。  コロナ禍のため中止		
事業費	60,751円		
対象者	江平小学校区地域住民		
参加者数 (内訳)	なし(中止)		
住民の声(アンケートの結果等)	令和3年度にアンケート実施 ・近年、様々な祭りの開催がなかったので、是非開催してほしい。 ・フライドポテトやかき氷の出店要望の声、射的や金魚すくい出店要望の声。 ・江平っ子ソーランや一輪車チーム等の披露の場がほしい。 ・子ども運営のお店出店などの声。		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A			広報	事業の周知	A		
	住民の参加	B		実行委員会開催（5月～8月計5回出席者数100名）コロナ禍のため、まつり中止。		事業の効果	課題解決への作用	A	
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		まつり運営の専門スタッフや若い人が参加する実行委員会への組織見直しを行った。			住民の満足度	B	
	各種団体との連携	A		人材確保のため、自治会以外の地域の各団体代表者等との事前協議を行った。	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江平地域のまつり事業の今後のあり方について2回（12月・1月）協議した。</li> <li>・実行委員会の組織及び事業予算補填対策（自主財源）等を見直すことができた。</li> </ul>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和2年3月事業計画） 地域全体の祭りとなるよう、各自治会の積極的な参加を促すようお願いします。 &lt;意見への対応&gt; 立ち上げる実行委員会の中で、広く周知が図られる方法を検討する。</p>						対応		未・済
	<p>&lt;地域協議会からの意見（ 年 月実施報告）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応		未・済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 4 ] 地域再生に関わる事業

事業名	朝活プラス事業	実施年数	2年目
事業期間	開始：令和3年度	終了：年度	
地域魅力発信 プランとの関連	暮らしやすい地域づくりに取り込みましょう。 地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう。		
目的 (期待される効果)	心豊かで活力ある長寿社会づくりに対応するため、朝等の時間帯を活用した様々なイベントを実施することで、高齢者等の社会参加の意欲や生活満足の向上に繋げていく。		
事業内容・手段	<p>生活や文化や経済の中心である「まちなか」の利点を生かし、企業や飲食店と連携し、高齢者を中心に多様な世代が参加できる朝活プラスを運営する。</p> <p>高齢者のICT参加（情報通信技術の使い方）活用、体験型のイベントと食事・交流を組み合わせることで、高齢者の社会参加の意欲や生活満足度の向上に繋げていく。</p> <p>実施報告</p> <p>シニアのためのスマホ活用術講座（連続3回）</p> <p>日時：第一期 令和4年9月 2日・ 9日・ 16日（毎週金） 第二期 令和5年1月16日・ 23日・ 30日（毎週月）</p> <p>場所：宮崎東地区交流センター 講師：公民館講座の講師</p> <p>健康ウォーク+健幸体操</p> <p>日時：令和4年10月20日（木）</p> <p>場所：宮崎東地区交流センター・宮崎育成牧場</p> <p>講師：地域包括ケア推進課 健康運動指導員</p>		
事業費	114,096円		
対象者	中央東地域自治区住民		
参加者数 (内訳)	<p>R4 9月2、9、16日（毎週金）参加者15名 スタッフ8名 合計23名 1月16、23、30日（毎週月）参加者17名 スタッフ9名 合計26名 10月20日（木）参加者13名 スタッフ11名 合計24名</p> <p>R3 11月12日 参加者17名 スタッフ7名 合計24名 11月19日 参加者17名 スタッフ6名 合計23名 12月 3日 参加者14名 スタッフ5名 合計19名</p>		
住民の声（アンケートの結果等）	<p>シニアのためのスマホ活用術講座 アンケート結果</p> <p>昨年の10月にスマホに変えたので、ライン、メール、電話ぐらいしか使わず（年なので下手に使うと怖かった）今回の講座は大変勉強になりました。</p> <p>このような講座に参加したのは、初めてでしたが有意義な時間でした。</p> <p>また何かあったら参加したいなと思っています。</p> <p>アプリを出す方法がわかり良かったです。</p> <p>5、6年前からスマホは使っていましたが、自己流だったので、基本から学べて良かったです。先生方もとても優しくまた、次回があればぜひ参加したいです。</p> <p>親切、丁寧に飽きもせず教えていただき理解できました。</p> <p>健康ウォーク+健幸体操 アンケート結果</p> <p>とても良い運動になりました。</p> <p>十分体がほぐされました。秋の半日を楽しく過ごしました。</p>		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	域ニーズの把握	A	A		広報	事業の周知	A	B	
	住民の参加	A	A			事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・スマホ操作について、気軽に何度でも教えてもらえる環境づくりができた。連続講座などで、回を重ねるごとに受講者同士のつながりもできた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）>  <意見への対応>						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）>  <意見への対応>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 4 ] 地域再生に関わる事業

事業名	地域の魅力発信事業	実施年数	2年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：年度													
地域魅力発信プランとの関連	自治会未加入対策など地域力の向上を図りましょう。 歴史・伝統・文化を守り継承しましょう。														
目的 (期待される効果)	地域の魅力を発信し、再発見することで、地域への愛着や関心を高めていく。 地域住民や企業等の連携により、地域文化を守り育てる地域づくり・人づくりの活動による加入促進を図る。														
事業内容・手段	<p>地域住民や企業と連携を図りながら地域行事（祭り等）の保護・継承活動をお宝マップを活用して更にアピールするマップの制作中。</p> <p>お宝マップ・古地図を活用し、歩きながら魅力スポットを巡るまち歩きイベントを実施する。</p> <p>まち歩きイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年11月12日（土）</li> <li>・内容：お宝マップで紹介したスポットやウォーキングコースを活用し、江平地区周辺を歩きながら魅力スポットを案内した。</li> </ul>														
事業費	12,534円														
対象者	中央東地域自治区住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者</td> <td>14名</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>9名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>23名</td> <td>34名</td> </tr> </tbody> </table>			年 度	令和4年度	令和3年度	参加者	14名	25名	スタッフ	9名	9名	合 計	23名	34名
年 度	令和4年度	令和3年度													
参加者	14名	25名													
スタッフ	9名	9名													
合 計	23名	34名													
住民の声（アンケートの結果等）	<p>大変良い勉強になりありがとうございました。</p> <p>皆さんと一緒にだと楽しいからまた参加したい。</p> <p>とても興味深く楽しく参加できました。</p> <p>知っていそうで知らない事もあったので、今後もこのような機会があれば参加したい。</p> <p>江平は歴史のある町だという事がよく分かりました。住んでいてこれ程深くは知りませんでした。</p> <p>歩きながらの古い歴史の勉強会良かったです。昔を思い出し良かったです。</p> <p>今回のような住んでいる町の以前の姿などとても勉強になりました。また、参加したいです。</p> <p>2回目の参加でしたが、とても興味深い話が多かったです。</p> <p>昔の事が思い出されて懐かしかったです。</p> <p>とても面白かったです。これからもよろしくお願いします。</p>														

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	域ニーズの把握	A	A		広報	事業の周知	A	B	
	住民の参加	A	A			事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・安全を徹底しまちなかを周遊しながら、地形や歴史のポイントなど、その魅力を紹介する楽しいまち歩きとなる。							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済	
		<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）> <意見への対応>					対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 4 ] 地域再生に係る事業

事業名	地域空撮事業	実施年数	1年目
事業期間	開始：令和4年度(2022年)	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう		
目的 (期待される効果)	移り変わる地域の様子を地域の小・中学校の5周年ごとに撮影し、地域団体に活用することで、児童・生徒をはじめ、地域住民の地域への愛着を育む。		
事業内容・手段	<p>ドローンを活用して地域の全景画像及び学校・PTAと連携して校庭での人文字を上空から撮影した画像を合同広報誌等に掲載。</p> <p>今後は、まちづくり推進委員会のSNS(フェイスブック)等で公開するとともに、自治会連合会をはじめとした関係団体にも活用を案内し、また、地域の社会資源である学校の周年事業での活用も調整する。</p> <p>5年ごとの地域の全景をSNS等に記録として残すことで、アクセスを増加させ、まちづくり事業の一層の周知を図る。</p>		
事業費	198,550円		
対象者	中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	人文字撮影に参加した学校の児童や先生(宮崎小学校) 約400人		
住民の声(アンケートの結果等)	アンケート未実施 PTA等の学校関係者から「記念に残って良い」との声があった。		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A			広報	事業の周知	A			
	住民の参加	A				事業の効果	課題解決への作用	A		
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A			住民の満足度		A			
	各種団体との連携	A			事業継続の必要性			有・無		
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;            成果物の画像データを活用して、令和5年3月発行「中央東地区合同広報誌」の表紙及び「地域づくり部会 地域空撮事業」の活動報告で鮮やかなカラー刷りで飾り、小中学校5周年ごとに地域の全景や校庭での人文字を撮影して行くことが周知できた。</p>									
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見(令和 年 月・ )&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済		
	<p>&lt;地域協議会からの意見(令和 年 月・ )&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済		

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



[ 6 ] 伝統文化に係る事業

事業名	文化伝承事業	実施年数	10年目
事業期間	開始：25年度(2013年)	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	歴史・伝統・文化を守りましょう		
目的 (期待される効果)	地域や学校、PTAが一体となり地域に残る伝統芸能を伝承する。 伝統芸能を守り伝えるため、地域のイベントなどで出演し地域住民にも広く周知を図る。		
事業内容・手段	<p>地域の伝統芸能である江平子ども太鼓「江鼓伝」と宮崎小学校の「宮小獅子」を伝承するための指導や練習を応援・協力するとともに、まちづくりの事業や学校行事等を中心に地域で活動し、地域文化の周知を図る。</p> <p>令和4年11月20日(日) 栄町児童公園ふれあいまつり事業のオープニングで宮小獅子が獅子舞を披露する予定であったが、雨天中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮小獅子の活動実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>R4年11/13(日) 宮崎小学校150周年記念イベント出演(23人)</li> <li>R4年6月~R5年2月 練習計8回(延べ参加者数122人)</li> </ul> </li> <li>・江鼓伝の活動実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul> </li> </ul>		
事業費	13,496円		
対象者	各小学校、中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	<p>令和4年度 宮小獅子23人</p> <p>令和3年度 宮小獅子21人・江鼓伝15人</p>		
住民の声(アンケートの結果等)	アンケート未実施		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A		広報	事業の周知	A	A	
	住民の参加	A	A	地域のまつり事業等のイベントがコロナ禍や雨天のため中止となる中、学校記念行事で伝統芸能が披露できた。		事業の効果	課題解決への作用	B	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				住民の満足度	A	A
	各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> コロナ禍による活動自粛期間が長く、活動や練習ができなかったが、宮小獅子舞の学校記念イベントへの出演や練習など、一部で活動が再開できた。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見(令和 年 月・事業計画)>								対応
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見(令和 年 月事業計画)>								対応
	<意見への対応>								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 7 ] 地域教育に係る事業

事業名	地域交流「結び・笑(え)」事業	実施年数	14年目
事業期間	開始：21年度(2009年)	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう		
目的 (期待される効果)	地域と学校・子ども会との連携を図り、子供から若い世代や高齢者まで地域交流の場を開催し、三世代交流で地域の活性化に努める。		
事業内容・手段	11月20日(日)栄町街区公園において、「栄町児童公園ふれあいまつり事業」と合同開催し、子どもたちからお年寄りまで多くの方に人気があり、三世代交流の効果が見込める「ふれあい動物園」や「おもちゃ病院」のイベント準備をしていたが、雨天のため中止。		
事業費	53,116円		
対象者	各小学校校区児童・幼児、中央東地域住民		
参加者数 (内訳)	令和4年度：雨天中止 令和3年度：来場者263名/スタッフ47名(計310名) 令和30年度：来場者331名/スタッフ56名(計387名)		
住民の声(アンケートの結果等)	アンケート未実施		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A		広報	事業の周知	A	A	
	住民の参加		A	雨天中止		事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				住民の満足度		A
	各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> イベントは中止となったが、会場の受付事務の簡略化と地元中学生ボランティア5名配置で受付の短時間化を図り、人の密集を避けるなどのコロナ感染防止対策を準備した。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見(令和 月 月・事業計画)>  <意見への対応>						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見(令和 年 月 )>  <意見への対応>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 7 ] 地域教育に係る事業

事業名	ITちびっこづくりモデル事業	実施年数	1年目
事業期間	開始：令和4年度（2022年）	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう		
目的 (期待される効果)	小学校にプログラミング教育が取り入れられたことや、宮崎市が取り組むマチナカ3000プロジェクトにより中心市街地にICT企業等の雇用が創出されていることなどから、地域の小学生にプログラミングに触れる機会を提供することで、子どもたちがIT関係に興味を持つきっかけとし、宮崎での就職に繋げていく。		
事業内容・手段	<p>夏休み期間中に、小学生を対象としたプログラミングのセミナーを宮崎小学校区と江平小学校区に会場と開催時間を分けて同日、計3日間の午前(宮崎小学校区：若草通アーケード内「まちなかキャンパス」と午後(江平小学校区：「宮崎東地区交流センター」、各3回開催。</p> <p>講義時間：2時間(午前9時30分～11時30分/午後2時～午後4時)</p> <p>対象者：宮崎小学校及び江平小学校に通う5年生・6年生で、3回全ての教室に参加できる方</p> <p>参加料：1,200円(3回合計)</p> <p>定員：15名(参加者多数の場合は抽選による)</p> <p>コロナ禍のため中止</p>		
事業費	64,217円		
対象者	地域住民(小学生)		
参加者数 (内訳)	なし(中止)		
住民の声(アンケートの結果等)	アンケート未実施		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A		背景に小学校へのプログラミング教育導入及び宮崎市のIT企業等の雇用創出の取り組み	広報	事業の周知	A		2小学校へのチラシ配布
	住民の参加	B		コロナ禍のため中止。		事業の効果	課題解決への作用	B	
効果的・効率的な取り組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B		単なるプログラミング教室ではなく、地域を巻き込んだ事業形態を検討したい。		住民の満足度	B		コロナ禍のため中止。
	各種団体との連携	A		プログラミング教育の講師として宮崎大学の教授や大学生、宮崎ベースキャンプとの連携。商店街との連携。	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;                      事業は中止になったが、プログラミングやITに関する教育に必須の人的支援をはじめ、専門機材等の支援までの協力体制が宮崎大学及び宮崎ベースキャンプとの連携を図ることで築けることが確認できた。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（ 年 月事業計画）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>							対応	未・済
	<p>&lt;地域協議会からの意見（ 年 月実施報告）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>							対応	未・済

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

[ 7 ] 地域教育に係る事業

事業名	正しいかけっこ・歩き方事業	実施年数	1年目
事業期間	開始：令和4年度	終了：年度	
地域魅力発信プランとの関連	地域の活性化や若者のまちづくりへの参加を促しましょう。		
目的 (期待される効果)	子ども達の体力低下が言われている中、子ども達を対象に専門講師等による走り方教室を開催することで、運動の楽しさを知ってもらい、運動不足の解消や運動の習慣化に繋げていく。また、コロナ禍で不要不急の外出を控える高齢者においても、専門講師等による歩き方教室を開催し、運動不足の解消や下肢筋力の維持、運動の習慣化に繋げていく。		
事業内容・手段	<p>夏休み期間中に、宮崎小学校及び江平小学校に通う小学生を対象とした走り方教室及び高齢者を対象とした正しい歩き方教室を同時に開催予定だったが、コロナ禍により、歩き方教室を中止。また、宮崎小学校区と江平小学校区で会場と日程を分けて各3回開催予定あったが、コロナ禍により2回に変更。</p> <p>・「かけっこ教室」と「正しい歩き方教室」の日程及び会場</p> <p>宮崎小学校区：7 / 29、8 / 5 (計2回) 小学校運動場 (雨天時は体育館)</p> <p>江平小学校区：8 / 1、8 / 8 (計2回) 小学校運動場 (雨天時は体育館)</p> <p>時間：午前10時30分～午前12時</p> <p>指導者：宮崎市スポーツ推進委員 (計4人)</p> <p>対象者：かけっこ教室・・・全3回全てに参加できる小学1～6年生 正しい歩き方教室・・・おおむね65歳以上の方</p>		
事業費	104,254円		
対象者	地域住民 (高齢者・小学生)		
参加者数 (内訳)	<p>「かけっこ教室」(コロナ禍のため計画回数3回を2回に変更)</p> <p>宮崎小学校 計22人 (申込者数)</p> <p>江平小学校 計47人 ( " )</p> <p>「正しい歩き方教室」 0人 (コロナ禍のため中止)</p>		
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>アンケート未実施</p> <p>「走り方がわかって速く走れてよかった」、「暑かったけど、体が動かせて楽しかった」などの声があった。</p>		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	域ニーズの把握	A			広報	事業の周知	B		「かけっこ教室」は学校へのチラシ配付、「正しい歩き方教室」は自治会を介しチラシを班回覧。
	住民の参加	A				事業の効果	課題解決への作用	A	
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A		地域住民との接点があると良い。			住民の満足度	A	
	各種団体との連携	A		市スポーツ推進委員との連携を図ることで、指導スタッフ人材と事業内容が充実。	事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 2回目の「かけっこ教室」では、小学校 PTA 役員等から人的支援の協力があったため、受付のスムーズ化が図られた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



[ 8 ] その他の事業

事業名	事務局管理運営事業	実施年数	11年目
事業期間	開始：平成24年度(2012年)	終了：	年度
地域魅力発信プランとの関連	自治会未加入対策など地域力の向上を図りましょう		
目的 (期待される効果)	まちづくりの各事業案内や取組状況などを広く地域住民に周知し、より多くの事業への参加を喚起する。また、企業へも案内し一緒に参加できるようにする。住民の世代間交流を図ることで将来を担う人材を育成し、地域活性化や課題解決に繋げていく。		
事業内容・手段	<p>広告事業収入</p> <p>3月号の合同広報誌に事業所等からの広告チラシを折り込むことで、広告収入を得ながら地域住民に有益な情報を提供した。</p> <p>合同広報誌の発行・配布(各A4版10ページカラー印刷)</p> <p>8月号は、まちづくり推進委員会・地域自治区地域協議会・地区社会福祉協議会・地区交流センターが合同で広報誌を作成し、タウンプラスにより、地域内の企業や自治会(未加入世帯を含む)全世帯・企業へ配布した。</p> <p>3月号は、8月号と同様に各団体と合同で作成し自治会・各学校PTA戸数にて配布した。</p> <p>掲示板設置</p> <p>令和4年台風14号の暴風により破損した1基を補修した。</p> <p>高齢者お役立ちガイドブック</p> <p>中央東地区社会福祉協議会を協同で作成し、民生委員児童委員協議会や自治会などに配布した。</p>		
事業費	2,168,503円		
対象者	中央東地域住民(事業所等含む)		
参加者数 (内訳)	<p>広告事業： 法人事業所2社、個人事業所1社</p> <p>8月号： 20,600部</p> <p>3月号： 7,500部</p> <p>掲示板： 1基補修(設置18基)</p>		
住民の声(アンケートの結果等)	アンケート等無		

自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	地域ニーズの把握	A	A		広報	事業の周知	A	A	
	住民の参加	B	B			事業の効果	課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				住民の満足度	B	B
	各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;            企業等からの広告チラシを折り込んだことで、自己資金を得たとともに、地域住民に有益な情報を提供することができた。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（ 年 月 ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	
	<p>&lt;地域協議会からの意見（ 年 月 ）&gt;</p> <p>&lt;意見への対応&gt;</p>						対応	未・済	

「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

令和4年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	地域の子ども見守り事業
-----	-------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	118,000	
2	繰越金	0	
3			
4	合計(A)	118,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	62,370	消耗品費 見守り隊ベスト10着(プリント代込) 47,130 見守り隊キャップ10個(プリント代込) 15,240
2	役務費	550	手数料(口座振込) 550 × 1 550
3	合計(B)	62,920	

収支差額(A) - (B)	55,080
---------------	--------

(様式第6号)

令和4年度事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	防災訓練事業
-----	--------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	316,000	
3			
4	合計(A)	316,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
1	需用費	165,053	消耗品費	
			ブラザーコピー機トナー	22,968
			エプソン用インクカートリッジ	2,600
			ガスコンロ、ガスボンベ	20,990
			延長コード(5m)	2,178
			五目ごはん(保存食)	35,424
			豚汁(保存食)	37,800
			鍋、やかん、風防	28,227
			保存水	2,500
			トングほか	2,748
			食糧費	
			お茶代	9,618
2	役務費	3,380	手数料(口座振込)	
			330×1、550×1	880
			保険料	
			@50×50人	2,500
3	使用料及び賃借料	0		
4	備品購入費	0		
5	合計(B)	168,433		

収支差額(A) - (B)	147,567
---------------	---------

(様式第6号)

令和4年度事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	防災学習事業
-----	--------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	62,777	
2	繰越金	87,223	
3	合計(A)	150,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	0	
2	需用費	36,692	消耗品費 赤ペン、黒ペン、カラーラベル 18,520 食糧費 お茶代 2,222 印刷製本費 江平小災害図上訓練地図代 15,950
3	役務費	660	手数料(口座振込) 330 × 2 660
4	使用料及び賃借料	0	
5	合計(B)	37,352	

収支差額(A) - (B)	112,648
---------------	---------

(様式第6号)

令和4年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	備蓄品購入事業
-----	---------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	50,000	
2	繰越金	0	
3	合計(A)	50,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	19,440	消耗品費 避難所用保存食(保存5年) 19,440 新・備パワーブーストようかん @11,016×1箱(6本入り×20袋) 新・備エネバー @8,424×1箱(3本入り×28袋)
2	役務費	450	手数料(口座振込) 250×1 250 送料 200×1 200
3	備品購入費	30,000	備品購入費 30,000 避難所用パーティション(2m×2m×1.8m) @10,000×3個
4	合計(B)	49,890	

収支差額(A)-(B)	110
-------------	-----

(様式第6号)

令和4年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	げんきづくりふれあい事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	290,000	
2	負担金	0	
3	合計(A)	290,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	報償費	27,000	講師謝金 ・吾妻町 (@3,000×7回) 21,000 ・宮崎駅前 (@3,000×2回) 6,000
2	需用費	8,463	消耗品費 ・フラットファイル 1,290 食糧費 ・お茶代 7,173
3	役務費	12,718	通信運搬費 ・切手代 2,718 ・保険料 (@50×20名×10回) 10,000
4	使用料及び賃借料	1,500	使用料 ・会場使用料 1,500
5	合計(B)	49,681	

収支差額(A) - (B)	240,319
---------------	---------

(様式第6号)

令和4年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	認知症サポーター養成講座事業
-----	----------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	50,000	
2	繰越金	0	
3	負担金		
4	合計(A)	50,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	20,435	消耗品費 ・ 除菌シート45個、用紙代 6,880 ・ コピー用紙 10,170 食糧費 ・ お茶代 3,385
2	役務費	4,409	通信運搬費 ・ 切手代 2,079 ・ 振込手数料 330 保険料 (@50×40名) 2,000
3	合計(B)	24,844	

収支差額(A) - (B)	25,156
---------------	--------



(様式第6号)

令和4年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	地域とお年寄りの交流事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	10,000	
2	繰越金	0	
3	負担金		
4	合計(A)	10,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	0	
2	役務費	9,744	通信運搬費 ・切手代 9,744
3	合計(B)	9,744	

収支差額(A) - (B)	256
---------------	-----

(様式第6号)

令和4年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	生ごみ減量ダンボールコンポスト普及事業
-----	---------------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	196,000	
2	負担金	39,400	受益者負担金
3	合計(A)	235,400	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	10,000	講師謝金 ・ダンボールコンポスト・寄せ植え謝金 10,000
2	需用費	199,412	消耗品費 ・広報用紙(6,000枚) 20,460 ・ダンボールコンポストセット一式(31セット) 63,650 ・寄せ植え鉢・花セット一式(47セット) 47,191 ・畑用の苗その他 20,592 ・ビニール袋、温度計、プランター他 19,403 ・防草シート 717 ・ベスト (@3,500×7枚) 24,500 食糧費 ・お茶代 2,899
3	役務費	13,221	保険料 (@50×20名×3回,@50×25名×1回) 4,250 畑活動 1,750 通信運搬費 ・振込手数料 (@330×2) 660 ・切手代 6,561
4	使用料及び賃借料	1,000	畑賃借料金(1年間) 1,000
5	合計(B)	223,633	

収支差額(A)-(B)	11,767
-------------	--------

(様式第6号)

令和4年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	動物愛護環境活動事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	700,000	
2	合計(A)	700,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	需用費	49,500	消耗品費 ・活動員ベスト (@3,300×15枚) 49,500
2	役務費	588,215	保険料 ・ボランティア保険 (@350×14人) 4,900 手数料 ・避妊、去勢手術手数料(雄雌45匹分) 577,610 ・振込手数料 5,390 通信運搬費 ・切手代 315
3	合計(B)	637,715	

収支差額(A) - (B)	62,285
---------------	--------

(様式第6号)

令和4年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	大淀河畔たまゆらまつり事業
-----	---------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	950,000	
2	繰越金	0	
3			
4	合計(A)	950,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	290,324	消耗品費 広報用紙 27,280 インクカートリッジ他 15,964 ポスター、チラシ、うちわ印刷代 247,080
2	役務費	14,052	通信運搬費 切手代 3,032 手数料(口座振込) 330×2、550×3 2,310 保険料 スタッフ(2,880円) 来場者(5,830円) @36×80人、@2.915×2,000人 8,710
3	委託料	356,126	委託料 警備スタッフ 99,000 ステージ、仮設トイレ、照明機材一式 257,126
4	使用料及び賃貸料	259,500	使用料及び賃貸料 テント、テーブル、椅子 259,500
5	備品購入費	24,960	備品購入費 一体式消毒・検温器(@12,480×2台) 24,960
6	合計(B)	944,962	

収支差額(A) - (B)	5,038
---------------	-------

(様式第6号)

令和4年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	栄町児童公園ふれあいまつり事業
-----	-----------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	450,000	
3			
4	合計(A)	450,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
1	報償費	0		
2	需用費	182,787	消耗品費	
			プラ板用板及びマジック	14,217
			木工工作キット	49,500
			カプセル自販機、防災グッズ	92,070
3	役務費	20,102	食糧費	
			参加者お菓子代	27,000
			通信運搬費	
4	使用料及び賃借料	0	切手代	2,772
			保険料	
			@47×350人	16,450
			手数料(口座振込)	
5	合計(B)	202,889	@330×1、@550×1	880

収支差額(A) - (B)	247,111
---------------	---------

(様式第6号)

令和4年度事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	江平地域のまつり事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	290,000	
3			
4	合計(A)	290,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
1	需用費	59,020	消耗品費	
			チラシ(開催広告用)	20,460
			チラシ(中止広告用)	16,500
			印刷機用インク	12,760
			食糧費	
お茶代	9,300			
2	役務費	1,731	通信運搬費	
			切手代	1,071
			手数料(口座振込)	
	330×2	660		
3	使用料及び賃借料	0		
4	合計(B)	60,751		

収支差額(A) - (B)	229,249
---------------	---------

(様式第6号)

令和4年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	朝活プラス事業
-----	---------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	240,000	
2	繰越金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	240,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	72,000	報償費 (@6,000×2人×6回) 72,000
2	需用費	31,118	消耗品費 ・ 広報用紙6,000枚 20,460 ・ のぼり用ポール代 3,300 (@1,500×2本+税) ・ フラットファイル 1,290 食糧費 ・ お茶代 6,068
3	役務費	10,978	保検料 (@50×20人×7回) 7,000 通信運搬費 ・ 切手代 3,978
4	合計(B)	114,096	

収支差額(A) - (B)	125,904
---------------	---------

(様式第6号)

令和4年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	地域の魅力発信事業
-----	-----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	170,000	
2	繰越金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	170,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	6,000	講師謝金 (@3,000円×2h×1名) 6,000
2	需用費	5,200	消耗品費 ・名刺カード 440 印刷製本費 4,000 食糧費 ・お茶代 760
3	役務費	1,334	保険料 (@50×25名) 1,250 通信運搬費 ・切手代 84
4	合計(B)	12,534	

収支差額(A) - (B)	157,466
---------------	---------





(様式第6号)

令和4年度事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	地域空撮事業
-----	--------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	420,000	
2	繰越金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	420,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	需用費	0	
2	委託料	198,550	委託料 ドローン空撮業務 198,550
3	合計(B)	198,550	

収支差額(A) - (B)	221,450
---------------	---------

(様式第6号)

令和4年度事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	文化伝承事業
-----	--------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	120,000	
3			
4	合計(A)	120,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内  記
1	報償費	0	
2	需用費	12,614	食糧費 お茶・ジュース代 12,614
3	役務費	882	通信運搬費 切手代 882
4	使用料及び賃借料	0	
5	合計(B)	13,496	

収支差額(A) - (B)	106,504
---------------	---------

(様式第6号)

令和4年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	地域交流「結び・笑(え)」事業
-----	-----------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	370,000	
3			
4	合計(A)	370,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
1	需用費	52,016	消耗品費	
			チラシ	10,230
			ラミネート代	1,648
			布テープ、ロープ、封筒	880
			アンケート用ボックス	1,058
			名札、ごみ袋、ゴミ箱	14,667
			ビニール袋、名札	4,698
	食糧費			
	お茶、ジュース代	18,835		
2	役務費	1,100	手数料(口座振込) 550×2 1,100	
3	使用料及び賃借料	0		
4	合計(B)	53,116		

収支差額(A) - (B)	316,884
---------------	---------

(様式第6号)

令和4年度事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	ITちびっこづくりモデル事業
-----	----------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	231,000	
3			
4	合計(A)	231,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	報償費	0	
2	需用費	38,247	消耗品費 トナー、ドラム他 38,247
3	役務費	3,970	通信運搬費 切手代 420 手数料(口座振込) 550 × 1 550 保険料 @50 × 20名 × 3回 3,000
4	使用料及び賃借料	22,000	使用料及び賃借料 検温器(2台分) 22,000
5	合計(B)	64,217	

収支差額(A) - (B)	166,783
---------------	---------

(様式第6号)

令和4年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名	正しいかけっこ・歩き方事業
-----	---------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	0	
2	繰越金	162,000	
3			
4	合計(A)	162,000	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	報償費	43,000	講師謝金 かけっこ塾 講師謝金(計4人) 43,000
2	需用費	46,634	消耗品費 インクジェット用紙、瞬間冷却 剤等かけっこ塾準備品 29,354 食糧費 清涼飲料水 17,280
3	役務費	14,620	通信運搬費 切手代 5,796 支払証明書 94 手数料(口座振込) 660×1、330×4 1,980 保険料 @50×43人(宮小2回分) 2,150 @50×92人(江平小2回分) 4,600
4	合計(B)	104,254	

収支差額(A) - (B)	57,746
---------------	--------

(様式第6号)

令和4年度 事業別収支計算書

中央東地域自治区  
中央東まちづくり推進委員会

事業名		事務局管理運営事業	
(1) 収入の部		(単位:円)	
番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	2,035,223	
2	繰越金	42,240	
3	広告収入	91,000	(@5×7,000×2社・@3×7,000×1社)
4	自己資金	40	預金利息
5	合計(A)	2,168,503	
(2) 支出の部			
番号	科目	金額	内訳
1	賃金	3,150	河野 泉 3,150
2	手当	53,571	事務局員時間外 (補助金対応できなかった分) 53,571
3	需用費	1,205,712	・消耗品費 インクカートリッジ(エプソンプリンター用) 20,464 トナーカートリッジ(ブラザー用) 43,538 事務局封筒角2、長3(各1,000枚) 51,700 USBメモリー 10,043 ネームランドテープ 6,503 ゴミ箱 5,770 ハガキ、マイクホルダー、広報用紙他 28,798 ・食糧費 総会、役員会お茶代 23,436 ・印刷製本費 <合同広報誌8月発行分> 20,600部(帯代印刷含) 565,400 <合同広報誌3月発行分> 7,500部(地区社協半分負担) 134,750 広告折り込み料3社 24,750 <ぐるみん中央東> 3,000部(地区社協と協同作成) 250,300 ・修繕料 掲示板補修(権現町自治会) 40,260
4	役務費	853,050	・保険料 掲示板(18基分) 3,780 かまどベンチ(2台分) 1,840 ・通信運搬費 (8月号広報誌郵便配達料金)タウンプラス利用料 (@32×20,113通) 643,616 切手代(部会員、役員等) 58,355 事務局電話料等 139,959 ・手数料 振込手数料 (@330×5ヶ所)・(@550×7ヶ所) 5,500
5	備品購入費	10,780	・備品購入費 ポータブルDVDプレーヤー 10,780
6	旅費	0	0
7	賃借料	42,240	・パソコンリース代(@3,520×12ヶ月) 42,240
8	合計(B)	2,168,503	
収支差額(A)-(B)		0	

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和5年5月26日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市橘通西3丁目10番32号  
名 称 中央東まちづくり推進委員会  
代表者の氏名 委員長 太田 修子  
電 話 番 号 0985-27-6240

令和5年2月22日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において2,289,323円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添 付 書 類

令和4年度収支決算書



令和4年度 中央東まちづくり推進委員会への意見書（事業実施報告）

中央東地協第2号

令和5年5月26日

中央東地域自治区地域協議会

会長 長田 一郎

令和4年度の中央東地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていきましたので、承認いたします。

記

1. 総括

中央東地域まちづくり推進委員会設立から10年以上が経過し、多様な事業の実施と地域の各種団体等との連携により、まちづくりの活動が地域に根付いてきたと思われます。

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症への感染が懸念されるなか、地域の課題解決のため、事業実施においては、感染対策を図った上で、取り組み方法を工夫し、適正な事業運営が実施されていきました。

2. 事業の推進体制

中央東地区のまちづくりに効果的、継続的に取り組めるよう、まちづくり推進委員会と地域各種団体とで連携した取組が今後もより一層進められるよう努めてください。

3. 各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

特に無し

4. その他

特に無し